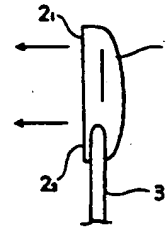


**(54) PUTTER FOR GOLF**

(11) 5-329233 (A) (43) 14.12.1993 (19) JP  
(21) Appl. No. 4-166933 (22) 2.6.1992  
(71) KYODO SEISAKU K.K. (72) SHOICHI TATEISHI  
(51) Int. Cl<sup>7</sup>. A63B53/00, A63B53/04

**PURPOSE:** To provide the putter for golf which enables the easy and exact setting for putting and the tool thereof.

**CONSTITUTION:** A tape 4 to be attached onto a shaft 3 near a head 1 of the putter for golf is a line-shaped white or colored tape 4, at least the face side 4<sub>1</sub> of which consists of a straight line. The displaying of the line-shaped white or colored mark, at least the face side of which consists of the straight line, on the shaft surface so as to be parallel with the face of the putter is possible as well.



BEST AVAILABLE COPY

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-329233

(43) 公開日 平成5年(1993)12月14日

(51) Int. Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 3 B 53/00	E			
53/04	H			

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平4-166933

(22) 出願日 平成4年(1992)6月2日

(71) 出願人 390004949

株式会社協同制作

東京都荒川区西日暮里1-59-3

(72) 発明者 立石昌一

東京都荒川区西日暮里1-59-3

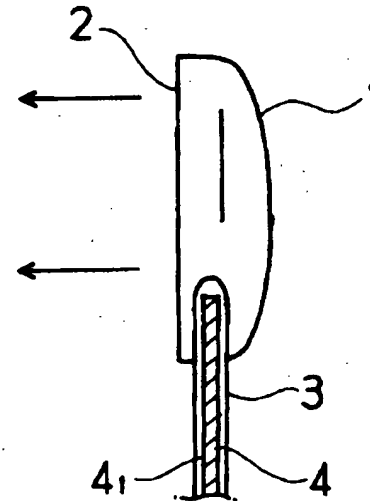
(74) 代理人 弁理士 中村 尚

(54) 【発明の名称】 ゴルフ用バター

(57) 【要約】

【目的】 パッティングのセッティングを容易に且つ正確にできるゴルフ用バター並びにそのための小道具を提供する。

【構成】 ゴルフ用バターのヘッド1寄りのシャフト3上に付すテープ4であって、少なくともフェイス面側4<sub>1</sub>が直線からなるライン状で白色若しくは着色されたテープ4である。また、少なくともフェイス面側が直線からなるライン状で白色若しくは着色されたマークを、バターのフェイス面と平行になるようにシャフト表面に表示することもできる。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ゴルフ用バターのヘッド寄りのシャフト上に付すテープであって、少なくともフェイス面側が直線からなるライン状で白色若しくは着色されたテープであることを特徴とするゴルフ用バターに用いられるテープ。

【請求項2】 少なくともフェイス面側が直線からなるライン状で白色若しくは着色されたテープを、該テープがバターのフェイス面と平行になるように取り付けたことを特徴とするゴルフ用バター。

【請求項3】 少なくともフェイス面側が直線からなるライン状で白色若しくは着色されたマークが、バターのフェイス面と平行になるようにシャフト表面に表示されていることを特徴とするゴルフ用バター。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はゴルフ用バターに関し、より詳細には、バッティングの方向性を著しく向上できるゴルフ用バターに関する。

## 【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】 ゴルフのバッティングは、ドライバーショットの醍醐味と別の意味でプレーの楽しみがあり、最も精神集中を要する技術の一つと云われている。

【0003】 バッティングに際しては、まず、バターのフェイス面をバッティングライン(打出し方向)に直角に合わせてセッティングする必要があるが、バッティング距離が長くなればなるほど、フェイス面の僅かな狂いがホールに近づくに従ってラインからのずれが大きくなる。

【0004】 最近、このセッティングを容易に且つ正確に行えとの観点から、ヘッドの大きいバターが提案されている。バターのフェイス面を大きくするほど、フェイス面をバッティングラインに合わせ易くなるとの理論である。

【0005】 しかしながら、既存の形式或いはヘッド大きさのバターであれ、また大きなヘッドのバターであれ、いずれも勘に頼る点で変わりはないと云われており、セッティングの難しさには変わりはない。特にバターはプレーヤーの好き嫌いが最も大きく左右されるものであるので、どのバターであってもセッティングが容易に且つ正確にできれば、一層のスコアアップを望むことができる。

【0006】 本発明は、かかる要望に応えるべく、バッティングのセッティングを容易に且つ正確にできるゴルフ用バター並びにそのための小道具を提供することを目的としている。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明者は、前記課題を解決するための手段を見出すべく種々研究を重ねた。その結果、バターはヘッドとシャフトとから構成される

が、如何なる形式並びにヘッド形状及び大きさのものであっても、セッティングに際して利用されるのは、フェイス面の極く一部にすぎないことを究明した。

【0008】 すなわち、ヘッドのフェイス面は、その長さは様々であるが、セッティングに利用されるフェイス面長さは、シャフトとの付け根からフェイス面先端までの距離にすぎないことが判明した。つまり、図1及び図2に異なる形式のバターを示すが、いずれのバターにおいても、フェイス面2においてシャフト3との付け根から手前側のフェイス面2は殆どがシャフト3によって死角となり、セッティングに利用されず、フェイス面2のみが利用されているにすぎない。

【0009】 本発明者は、この原因究明に基づいて新規なセッティング手段を見出し、ここに本発明をなしたものである。

【0010】 すなわち、本発明は、ゴルフ用バターのヘッド寄りのシャフト上に付すテープであって、少なくともフェイス面側が直線からなるライン状で白色若しくは着色されたテープであることを特徴とするゴルフ用バターに用いられるテープを要旨とするものである。

【0011】 また他の本発明は、少なくともフェイス面側が直線からなるライン状で白色若しくは着色されたマークが、バターのフェイス面と平行になるようにシャフト表面に表示されていることを特徴とするゴルフ用バターを要旨とするものである。

【0012】 以下に本発明を図面を参照して詳細に説明する。

## 【0013】

## 【実施例1】

【0014】 図3は本発明のテープ4の例を示しており、(a)は1本のテープ、(b)は2本のテープを合わせた複合テープ、(c)は1本のテープの片側に凹凸を形成したテープである。(b)のテープは(a)の場合よりも幅が広く、また(c)のテープは片側に不規則部分があるので他方の面(直線)がより直線であることを強調させることができる。いずれのテープ4も片側(フェイス面側)4は直線からなるライン状になっている。

【0015】 このようなテープは、シャフトの色調と異なるように白色若しくは着色されており、テープの材質もフィルム、紙等々の適当な材料で製作できる。テープの長さも、適宜の長さとしてことができ、長いほどフェイス面との合わせ方が容易である。なお、テープをシャフト上に貼り付け使用する状態で、フェイス面の利用長さとテープの長さの1/2がフェイスの重心と一致するように、テープの長さを決めると、セッティングと同時にボールの重心とも合わせることができ、フェイスの芯でヒッティングすることができる。

【0016】 図4に示すように、透明粘着フィルム等のフィルム5上に引き剥がし可能にテープ4を貼っておくのが便利である。使用する場合にはフィルムからテープ

3

を容易に剥がすことができ、テープの裏面に粘着剤が塗布されているので、シャフト上に貼り付けることができ、またシャフトから剥がすこともできる。テープを有するフィルムをそのままシャフト上に貼り付け、剥がすこともできる。

【0017】また、図5に示すように、プレーヤーの氏名を印刷したネーム入りテープとしてもよい。また、図6に示すように複数枚のテープ4を一枚のステッカー6に貼ってもよく、図7に示すように複数枚のテープ4を貼った筒状フィルムにしてもよい。

【0018】図8及び図9にテープの使用方法を示す。いずれのタイプのバターであっても、フェイス1との付け根から僅かに離れたシャフト3上にテープ4又はテープ粘着付きフィルム等5を貼り付る。その際、テープ4のフェイス面側4<sub>1</sub>が直線状になっているので、このフェイス面側がバターのフェイス面2と平行となるように（或いはフェイス面の延長線上にくるように）貼り付ける。テープとフェイス面とが平行となるように貼り付けるには、シャフトを手で持って水平に保った状態にすると、フェイス面が極く近くに見えるようになるので、テープとの平行線を出し易い。

【0019】

【実施例2】上述のテープと同じ構成のマークをシャフト表面に刻印、印刷等々により表示してもよい。この場合は、予めシャフト上にマークが所定の位置に正確に（すなわち、フェイス面と平行に）表示されているので、プレーヤーがその都度テープを貼り付ける等の作業を省略できる。

【0020】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、バッティングのセッティングを容易に且つ正確にでき

4

る。また取扱いが簡単であると共にどのような形式のバターにも適用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】バターとバッティング時のセッティング方法を説明する図である。

【図2】他の形式のバターとバッティング時のセッティング方法を説明する図である。

【図3】(a)、(b)、(c)はそれぞれ本発明のテープの一例を示す図である。

10 【図4】テープを透明粘着フィルムに貼った状態を示す図である。

【図5】ネーム入りテープを透明粘着フィルムに貼った状態を示す図である。

【図6】テープを貼り付けたステッカーを示す図である。

【図7】テープを貼付てフィルム状にした例を示す図である。

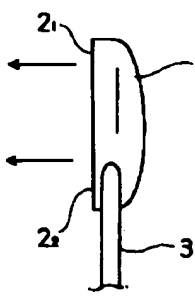
【図8】テープを貼り付けたバターとバッティング時のセッティング方法を説明する図である。

20 【図9】テープを貼り付けた他の形式のバターとバッティング時のセッティング方法を説明する図である。

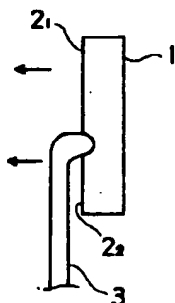
【符号の説明】

- 1 バターのヘッド
- 2 フェイス面
- 2<sub>1</sub> 有効フェイス面
- 2<sub>2</sub> 死角フェイス面
- 3 バターのシャフト
- 4 テープ
- 4<sub>1</sub> テープのフェイス面側
- 5 透明粘着フィルム
- 6 ステッカー
- 7 筒状フィルム

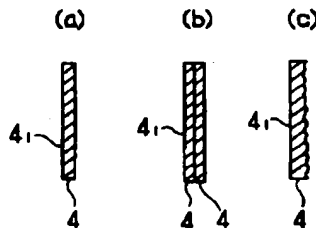
【図1】



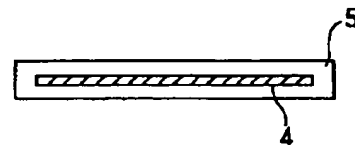
【図2】



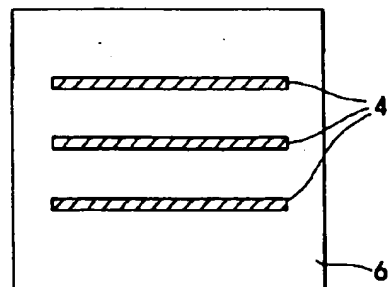
【図3】



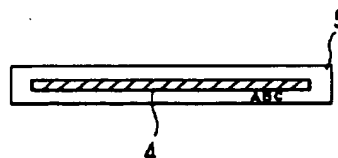
【図4】



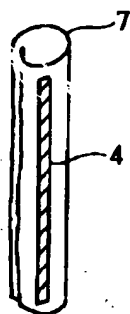
【図6】



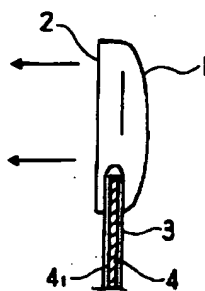
【図5】



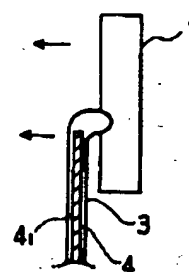
【図7】



【図8】



【図9】



BEST AVAILABLE COPY

PTO 03-2209

CY=JP DATE=19931214 KIND=A  
PN=05-329233

GOLF PUTTER  
[GORUFU YO PATTA-]

Shoichi Tateishi

UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE  
Washington, D.C. March 2003

Translated by: FLS, Inc.

PUBLICATION COUNTRY (10): JP  
DOCUMENT NUMBER (11): 05329233  
DOCUMENT KIND (12): A  
PUBLICATION DATE (43): 19931214  
PUBLICATION DATE (45):  
APPLICATION NUMBER (21): 04166933  
APPLICATION DATE (22): 19920602  
ADDITION TO (61):  
INTERNATIONAL CLASSIFICATION (51): A63B 53/00; A63B 53/04  
DOMESTIC CLASSIFICATION (52):  
PRIORITY COUNTRY (33):  
PRIORITY NUMBER (31):  
PRIORITY DATE (32):  
INVENTOR (72): TATEISHI; SHOICHI  
APPLICANT (71): KYODO SEISAKU K.K.  
TITLE (54): GOLF PUTTER  
FOREIGN TITLE [54A]: GORUFU YO PATTA-

(54) [Title of the Invention] Golf Putter

[Claims]

[Claim 1] A tape used with a golf putter characterized by being a tape attached to the shaft near the head of the golf putter and line-shaped white or colored tape with at least the face side comprising a straight line.

[Claim 2] A golf putter characterized by attaching a line-shaped white or colored tape with a least the face side comprising a straight line so that said tape is parallel to said face of the putter.

[Claim 3] A golf putter characterized by a line-shaped white or colored mark with at least the face side comprising a straight line being displayed on the shaft surface so that it is parallel to the face of the putter.

[Detailed Specifications]

[0001] [Field of Industrial Application]

The present invention relates to a golf putter, and in more detail, a golf putter able to remarkably improve the putting direction.

[0002] [Prior Art and Problems to be Solved by the Invention]

Putting in golf is an enjoyable play in a different sense than the epitome of a driver shot; it is referred to as an art requiring the most intense concentration.

[0003] During putting, first of all, it is necessary to set the face of the putter in perpendicular alignment with the putting line (driving direction), but the farther the putting distance is, the wider a slight deviation of the face from the putting line gets towards the hole.



[0004] Putters with large heads have been proposed recently from the standpoint of performing such putting with ease and accuracy. The theory is, the larger the face of the putter, the easier it is to align its face with the putting line.

[0005] However, it is said that that this does not change the fact that one has to resort his/her intuition when using any putter of an existing style or head size, or putter with a large head, and setting the putter is still difficult. Since the tastes of players sway greatly between putters in particular, an even better score can be anticipated if any putter is set easily and accurately.

[0006] In response to such demands, the object of the present invention is to obtain a golf putter that can be set easily and accurately for putting and a gadget for that purpose.

[0007] [Means for Solving the Problems]

As a result of repeating a variety of research in order to discover a means for solving the aforesaid problems, the inventor of the present invention looked into the fact that even though a putter was composed of a head and shaft, only part of the putter face was utilized no matter the style of putter or its head shape and size.

[0008] That is, it was proven that although the length of the face of the head varied, the length of the face utilized in setting was only the length from the base of the shaft to the leading edge of the face. In short, putters with different shapes are shown in Figures 1 and 2. However, there is a blind spot on almost the entire face 2<sub>2</sub> at hand from

the base of the shaft 3 in the face 2 due to the shaft 3, and the face is not utilized in setting, but only the face 2<sub>1</sub> can be utilized.

[0009] The inventor of the present invention discovered a novel setting means based on his looking deep into the causes of the problems and now he has achieved the present invention.

[0010] That is, the gist of the present invention is a tape used with a golf putter characterized by being a tape attached to the shaft near the head of the golf putter and line-shaped white or colored tape with at least the face side comprising a straight line.

[0011] Moreover, the gist of the other invention is a golf putter characterized by a line-shaped white or colored mark with at least the face side comprising a straight line being displayed on the shaft surface so that it is parallel to the face of the putter.

[0012] The present invention will now be explained in detail by referring to the drawings.

[0013] [Practical Example 1]

[0014] Figure 3 shows an example of the tape 4 of the present invention; (a) is one tape; (b) is a composite tape in which two pieces of tape are aligned; and (c) is a tape in which irregularities are formed on one side of a tape. The tape in (b) is wider than the one in (a) and the tape in (c) has an irregular part on one side; hence, the face on the other side (a straight line) can be emphasized because it is a straighter line.

Each tape 4 is line-shaped, with one side (face side) 4<sub>1</sub> comprising a straight line.

[0015] This tape is white or colored so as to be different than the color tone of the shaft. The material composing the tape is such that it can be produced from a suitable material, such as film or paper. The length of the tape can be suitably set. The longer the tape is, the easier it is to align it with the face of the putter. Moreover, when the tape is stuck to the shaft and used, the length of the tape is determined so that 1/2 of the length utilized on the face and the length of the tape is brought into line with the center of gravity of the face. It can also be brought into line with the center of gravity of the ball simultaneous to setting and hitting can be done at the center of the face.

[0016] As shown in Figure 4, sticking the peelable tape 4 onto a film 5, such as a transparent adhesive film, is convenient. At the time of use, the tape can be peeled easily from the film, or an adhesive can be applied onto the backside of the tape; hence, the tape can be stuck onto the shaft and then peeled from the shaft. The film with the tape can be stuck onto and peeled from the shaft as is.

[0017] Moreover, as shown in Figure 5, the tape can be imprinted with a name to identify the player. Moreover, as shown in Figure 6, a plurality of the tape 4 can be stuck to a sticker 6. As shown in Figure 7, the tape can be a cylindrical film on which a plurality of the tape 4 are stuck.

[0018] Methods for using the tape are shown in Figures 8 and 9. No matter what type of putter, the tape 4, the film 5 with adhesive tape, or the like is stuck onto the shaft 3, separated slightly from the base

at the face 1. In that case, the face side 4<sub>1</sub> of the tape 4 is a straight line; hence, this face side is stuck so that it is parallel to the face 2 of the putter (or so as to be an extended line of the face). In order to stick the tape so that it is parallel to the face, the face should be observed as close as possible as the shaft is held horizontally by hand; hence, the parallel line on the tape is obvious.

[0019] [Practical Example 2]

A mark with the same structure as the aforementioned tape can be displayed on the surface of the shaft as a seal, imprint, etc. In this case, the mark is pre-displayed exactly in a prescribed position on the shaft (i.e., parallel to the face); hence, the operation by the player for sticking the tape each time can be omitted.

[0020] [Advantages of the Invention]

As explained above, according to the present invention setting for putting can be done easily and accurately. Moreover, handling is simple, and at the same time, the present invention can be applied to a putter of any shape.

[Brief Explanation of the Drawings]

[Figure 1] A drawing explaining the putter and a setting method at the time of putting.

[Figure 2] A drawing explaining a putter with another shape and a setting method at the time of putting.

[Figure 3] (a), (b) and (c): drawings showing examples of the tape of the present invention, respectively.

[Figure 4] A drawing showing when the tape is stuck to a transparent adhesive film.

[Figure 5] A drawing showing when a tape with a name is stuck to a transparent adhesive film.

[Figure 6] A drawing showing a sticker on which the tape was stuck.

[Figure 7] A drawing showing an example in which a tape is stuck into the shape of a film.

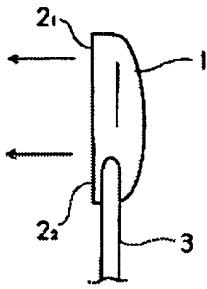
[Figure 8] A drawing for explaining a putter to which tape was adhered and a setting method at the time of putting.

[Figure 9] A drawing for explaining a putter with another shape to which tape was adhered and a setting method at the time of putting.

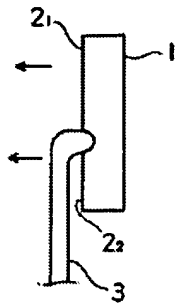
[Explanation of the Codes]

1: putter head; 2: face; 2<sub>1</sub>: effective face; 2<sub>2</sub>: face with blind spot;  
3: putter shaft; 4: tape; 4<sub>1</sub>: face side of tape; 5: transparent adhesive film; 6: sticker; 7: cylindrical film

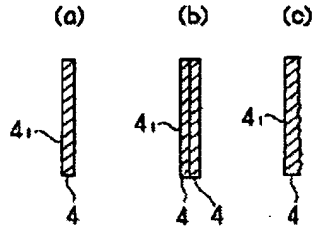
[Figure 1]



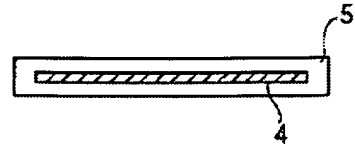
[Figure 2]



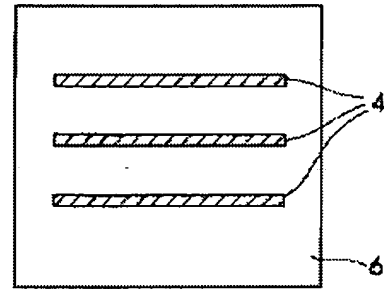
[Figure 3]



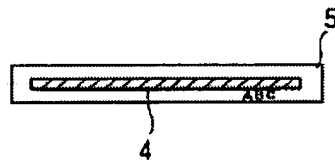
[Figure 4]



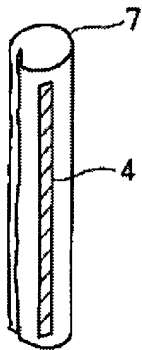
[Figure 6]



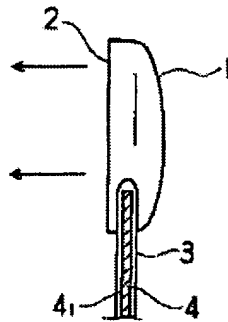
[Figure 5]



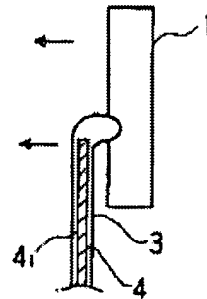
[Figure 7]



[Figure 8]



[Figure 9]



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**